



義農神社の今後は



三好 勝利 議員

随意契約金額が9億と多いがなぜか、入札選定方法は

他の業者で出来ない事業の場合は特命、他は町内業者優先

問

- ① 随意契約の条件と方法は。
 ② 入札、選定方法は。
 ③ 地域活性化計画で、各大字地区からの要望事項はどう決定されているのか。
- ① 一人に見積書を提出させ契約する。町長になって改善したが、特命随意契約が残り、額も増加している。
 ② 来年度から新方式の最低制限価格にして公平に業者選定を行う。入札参加資格審査時に町内業者か準町内業者申請書の提出を受け、入札参加業者決定する。
 ③ 毎年8月頃、各大字区長より地域要望を、取りまとめ、松前町土木事業整備優先順位基準により、緊急性、必要性、地元の合意形成、整備の効果などを評価し、町長が決定する。

松前漁協・四国珍味商工協同組合の活性化策は

事業資金の支援や組合と連携し、活性化に取り組む

問

- ① 松前漁協・四国珍味商工協同組合の今後の活性化策は。
 ② 義農神社の今後の施策は。
 ③ 地域防災計画で松前・岡田地区の海岸部での避難策は
- 事業に対し2分の1の補助などの支援をしている。
 珍味商工協同組合に対して、県内外のイベントに出展し、町の主力産業である珍味のアピールと販路拡大を連携して実施していく。
- 町が公費で同神社の管理や改修は、憲法上できないがこれを維持する団体を町長個人として立ち上げたい。
 ③ 津波の場合、松前、岡田校区沿岸部から国道56号までを浸水想定している。全戸配布の防災マップを参考に、避難経路の確認を。

町長・産業・総務課

① 漁協の、漁業経営の安定化、活性化を図るため、

② 義農精神を後世に伝える守っていく必要がある。